

尾張南支部

知多県民センターと合同で、不法投棄防止の啓発活動を展開

尾張南支部（金田英和支部長）の不法投棄防止キャンペーンは、6月2日（金）午後5時30分から、名鉄知多半田駅前ロータリーで、愛知県尾張県民事務所知多県民センターと合同で啓発活動を実施しました。

当日は名鉄知多半田駅前に支部長、役員、会員19名と知多県民センターから環境保全課長 野末治氏、同課主幹 山田芳久氏ら職員4名の方が参加しました。

金田支部長は「駅前での啓発活動は2回目となります。こうした活動は地域の環境保全・住み良い街づくりに欠かせないため、広く社会に伝えていきたいと思います。」と挨拶し、野末課長は「ごみの不法投棄防止の呼び掛けで街がきれいになり、地域社会の安全と安心を更に前進させるものだと思います。」と述べました。

その後、支部会員は背中に「Stop!!不法投棄」とスローガンの入った赤いベストを着用し、駅前ロータリーで啓発活動を行いました。駅前には通勤・通学の帰宅ラッシュ時ということもあり多くの市民の方が往来する中、一人ひとりにごみの不法投棄防



知多県民センターの方々と参加者の皆さん

止のお願いやごみの分別の大切さを呼びかけ、大判ウェットティッシュを手渡しました。県民センターではポケットティッシュ、ボールペンを用意し、県職員も市民の方へ呼びかけながら配りました。

開始時は駅の乗降客に向けての啓発活動でしたが、時間が経つにつれてバスを降りて駅に向かう人や、通勤客、ショッピング施設に出入りする買い物客に向けて声掛けを行い、配布する範囲を広げられました。

またノベルティの大判ウェットティッシュは、今年も大好評でした。手渡しする際、ごみの不法投棄防止や分別の協力をひと声かけると、笑顔でご苦労様という声で応えていただき、地域での不法投棄防止の意識が高まっていることを実感できました。

用意したノベルティ（大判ウェットティッシュ700個、ポケットティッシュ400個、ボールペン200本）は30分ほどで配布を終え、最後に山田主幹、金田支部長より参加者にお礼の言葉があり解散しました。



駅前ロータリーを行き交う方々にノベルティを渡し不法投棄防止をアピール